

I. 概要

1 計画策定の趣旨

近年、めまぐるしく社会のシステムが変化する中で、人々は単なる物質的な豊かさだけでなく、精神的な豊かさや心の安らぎを求めるようになってきています。

その一方で、昨今の厳しい経済情勢は雇用状況の悪化を招いており、また、急速な少子高齢化の進行や人と人の関わり合いの希薄化など、社会全体に不透明感や閉塞感が漂い、人々の生活に潤いがなくなってきていると言われています。

そのような中であって文化芸術は、人々の豊かな感性を育むとともに、郷土への愛着を深め、活力あるまちづくりのために重要な役割を担うものと考えられます。

本計画は、本市の文化芸術を振興するため、その基本理念及び具体的な施策を定めることを目的として策定します。

2 計画の位置付け

本計画は「第三次川越市総合計画」を上位計画とした文化芸術に関する個別計画として策定するものとし、その他の個別計画との整合を図りながら施策を推進することとします。

……… 第三次川越市総合計画における文化芸術の位置付け ………

平成18年度から平成27年度までの10年間を計画期間とする「第三次川越市総合計画」では、まちづくりの基本的な考え方を示す基本構想の理念の1つに“歴史・文化を生かしたまちづくり”を掲げています。

更に、総合計画の将来都市像である“ひと、まち、未来、みんなでつくる いきいき川越”を実現するために、教育・文化・スポーツの分野で“学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち”を基本目標とし、その中で、文化芸術に係る方向性として“歴史文化の継承と新しい市民文化の創造”を掲げ、また、施策として“芸術文化活動の充実”・“文化財の保存・活用”を挙げています。

(参考) 「第三次川越市総合計画」より抜粋

〈基本構想の理念〉

“歴史・文化を生かしたまちづくり”

先人から受け継いだ歴史と文化を生かし、新たな価値を創造するまちをつくれます。

教育・文化・スポーツの分野の基本目標

～学びと交流を深め、豊かな心と文化をはぐくむまち～

《芸術文化に係る方向性》

歴史文化の継承と新しい市民文化の創造

先人から受け継いだ豊かな歴史的文化は、本市の誇りであり市民の宝です。これを次世代に継承するとともに、新たな芸術文化を創造するため、市民の芸術文化活動を支援します。また、身近なところで芸術文化に親しめる環境を整えていきます。

…………… 本市のその他の個別計画との関係 ……………

本計画の推進においては、「川越市教育振興基本計画」、「川越市生涯学習基本計画」、「川越市国際化基本計画」、「川越市観光振興計画」など、他の行政分野の計画と整合を図りながら施策を推進していきます。

3 計画の期間

本計画の期間は「第三次川越市総合計画後期基本計画」に合わせ、平成23年度から平成27年度までの5年間とします。

なお、社会情勢や市民ニーズの変化、本計画の進行状況などを踏まえ、必要に応じて見直します。